



FRANKLIN
TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・ オーストラリア高配当株ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第23期 決算日 2024年9月20日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「フランクリン・テンプレトン・オーストラリア高配当株ファンド（年2回決算型）」は、2024年9月20日に第23期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年6月28日～2044年9月20日まで	
運用方針	主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプレトン・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプレトン・オーストラリア高配当株マザーファンド	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年3月20日及び9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		税 分	達 配				
	円	円	%	%	%	%	百万円
19期(2022年9月20日)	17,416	0	2.4	84.5	—	12.4	18,253
20期(2023年3月20日)	16,586	0	△ 4.8	85.8	—	12.4	14,655
21期(2023年9月20日)	18,207	0	9.8	86.7	—	10.8	14,297
22期(2024年3月21日)	20,609	0	13.2	86.7	—	10.4	18,541
23期(2024年9月20日)	21,334	0	3.5	87.5	—	10.1	22,743

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率
		騰 落	率			
(期首) 2024年3月21日	円	円	%	%	%	%
	20,609	—	—	86.7	—	10.4
3月末	20,855	1.2	—	86.6	—	10.4
4月末	20,867	1.3	—	89.7	—	9.7
5月末	20,727	0.6	—	89.8	—	9.3
6月末	21,775	5.7	—	89.8	—	8.8
7月末	20,877	1.3	—	89.6	—	9.0
8月末	20,942	1.6	—	89.9	—	9.5
(期末) 2024年9月20日	21,334	3.5	—	87.5	—	10.1

(注) 騰落率は期首比です。

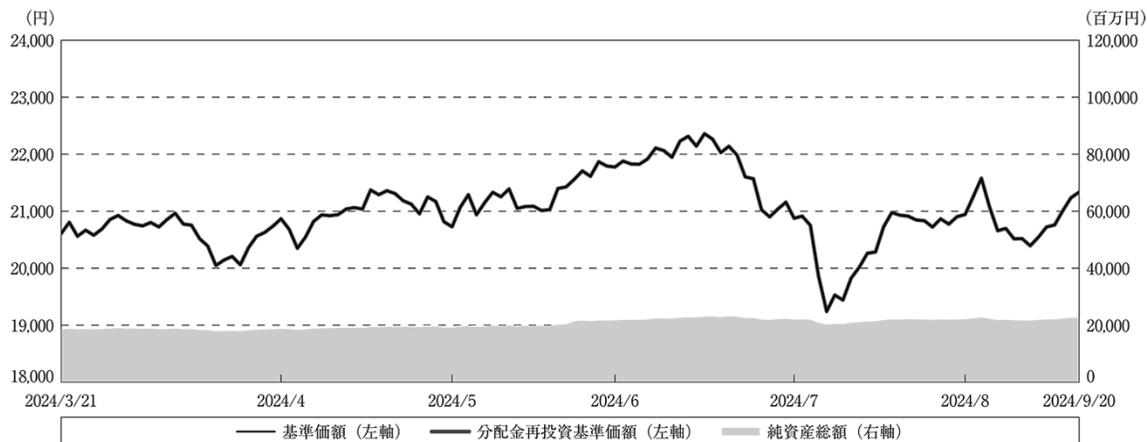
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年3月22日～2024年9月20日)



期首：20,609円

期末：21,334円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 3.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年3月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

株式要因については、保有銘柄からの配当を手堅く確保したことに加え、株式市場の上昇を受け、価格要因もプラスとなりました。一方、豪ドル安・円高を反映して為替要因はマイナスとなりました。

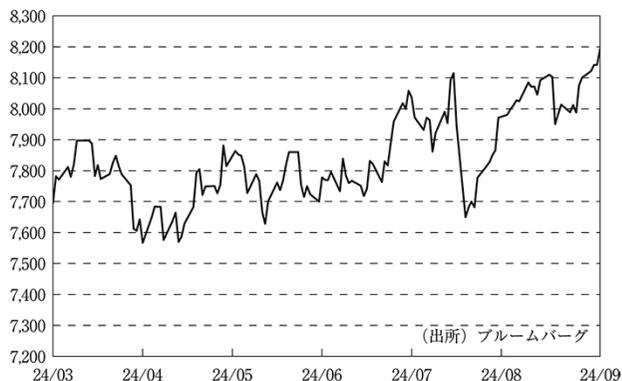
当期のオーストラリア株式市場は、上昇しました。

期の前半は、堅調な米国の経済指標等を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ開始時期が後ずれする可能性があるとの見方が市場で強まり、米国の株式市場が下落したことから、オーストラリアの株式市場も下落しました。また、中東における地政学的リスクの高まりも、株式市場の下落要因となりました。しかし、その後は豪雇用統計で失業率が市場予想以上に上昇したことから、オーストラリア準備銀行（RBA）の利下げ期待が高まったため、株式市場は上昇に転じました。

期の半ばは、米国雇用統計で労働市場の軟化が示されたとの見方が広がったことや、パウエルFRB議長の議会証言等を受け、FRBが2024年9月に利下げを開始するとの期待を背景に米国株式市場が上昇したため、オーストラリアの株式市場も上昇しました。

期の後半は、軟調な米国の経済指標を受けて米国の景気後退懸念が浮上し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、株式市場は一時下落しました。しかし、その後は豪雇用統計などが足元の国内景気の底堅さを示したことなどから、株式市場は上昇に転じました。さらに、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）に向けてFRBの大幅な利下げ期待が強まったことから米国の株式市場が上昇したため、オーストラリアの株式市場は一段と上昇しました。

オーストラリア株式指数（S&P/ASX200）の推移



当期の豪ドル・円相場は、豪ドル安・円高となりました。

期の前半は、日銀が2024年4月に開催した金融政策決定会合で追加利上げを見送ったことから、豪ドルは対円で大きく上昇しました。

期の半ばは、米ドル・円相場が37年半ぶりとなる1米ドル＝161円台まで上昇するなど、円が対主要通貨で下落するなか、豪ドルは対円で大きく上昇しました。また、堅調なオーストラリアの経済指標も、豪ドル高・円安の要因となりました。しかし、その後は円が対主要通貨で急速に上昇し、市場では日本の政府・日銀が円買いの為替介入を実施したとの観測が広がる中で、豪ドル安・円高が進みました。

期の後半は、7月末に開催された日銀の金融政策決定会合に向けて市場の利上げ期待が高まるなか、豪ドルは対円で大きく下落しました。さらに、実際に利上げを実施した金融政策決定会合後の会見で、植田日銀総裁が追加利上げについて言及したことから、豪ドルは対円で一段と下落しました。しかし、その後は堅調な豪雇用統計などを背景にRBAの利下げ観測が後退したため、豪ドル安・円高は一服しました。

豪ドル／円レートの推移



当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレートン・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

分配金

(2024年3月22日～2024年9月20日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第23期
	2024年3月22日～ 2024年9月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,097

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年3月22日～2024年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 192	% 0.915	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(93)	(0.441)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(93)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.022	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.020)	
（ 投 資 証 券 ）	(0)	(0.002)	
(c) そ の 他 費 用	2	0.011	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	199	0.948	
期中の平均基準価額は、21,007円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

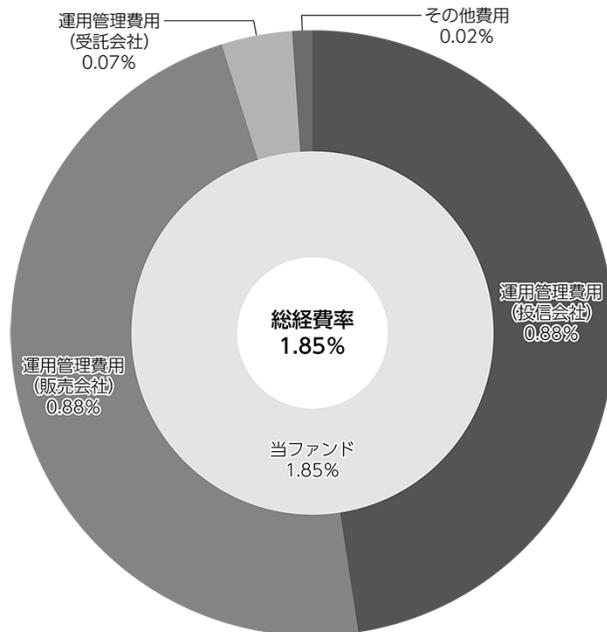
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年3月22日～2024年9月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド	1,398,216 千口	6,209,337 千円	634,646 千口	2,779,977 千円

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2024年3月22日～2024年9月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	46,871,528千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	217,011,798千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年3月22日～2024年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2024年3月22日～2024年9月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年3月22日～2024年9月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年9月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
フランクリン・templton・オーストラリア高配当株マザーファンド	千口 4,359,041	千口 5,122,610	千円 22,931,878

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・templton・オーストラリア高配当株マザーファンド	千円 22,931,878	% 99.8
コール・ローン等、その他	37,633	0.2
投資信託財産総額	22,969,511	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・templton・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(239,779,363千円)の投資信託財産総額(240,718,308千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月20日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=97.16円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	22,969,511,567	
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株マザーファンド(評価額)	22,931,878,947	
未収入金	37,632,620	
(B) 負債	226,290,349	
未払解約金	37,632,620	
未払信託報酬	187,297,082	
その他未払費用	1,360,647	
(C) 純資産総額(A-B)	22,743,221,218	
元本	10,660,444,822	
次期繰越損益金	12,082,776,396	
(D) 受益権総口数	10,660,444,822口	
1万口当たり基準価額(C/D)	21,334円	

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

8,996,701,141円

期中追加設定元本額

2,920,996,114円

期中一部解約元本額

1,257,252,433円

期末における1口当たりの純資産額は2,1334円です。

○損益の状況 (2024年3月22日～2024年9月20日)

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	781,380,699	
売買益	843,514,003	
売買損	△ 62,133,304	
(B) 信託報酬等	△ 188,657,729	
(C) 当期損益金(A+B)	592,722,970	
(D) 前期繰越損益金	3,745,708,073	
(E) 追加信託差損益金	7,744,345,353	
(配当等相当額)	(8,548,040,629)	
(売買損益相当額)	(△ 803,695,276)	
(F) 計(C+D+E)	12,082,776,396	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	12,082,776,396	
追加信託差損益金	7,744,345,353	
(配当等相当額)	(8,558,112,023)	
(売買損益相当額)	(△ 813,766,670)	
分配準備積立金	4,338,431,043	

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	370,820,232円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	221,902,738
(C) 収 益 調 整 金	8,558,112,023
(D) 分 配 準 備 積 立 金	3,745,708,073
分配対象収益額(A+B+C+D)	12,896,543,066
(1万口当たり収益分配対象額)	(12,097)
収 益 分 配 金	0
(1万口当たり収益分配金)	(0)

<お知らせ>

該当事項はございません。

フランクリン・templton・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用状況のご報告

第13期 決算日 2024年9月20日

(計算期間：2023年9月21日～2024年9月20日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・templton・オーストラリア高配当株マザーファンド」の第13期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2011年9月29日設定）
運 用 方 針	1. 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を中心に投資を行います。 2. 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	株式組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産額
9期(2020年9月23日)	20,851	△18.0	83.8	—	12.3	379,575
10期(2021年9月21日)	29,191	40.0	82.8	—	14.1	349,369
11期(2022年9月20日)	35,256	20.8	83.8	—	12.3	290,530
12期(2023年9月20日)	37,545	6.5	85.9	—	10.7	246,876
13期(2024年9月20日)	44,766	19.2	86.8	—	10.0	240,116

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率
(期首) 2023年9月20日	37,545	—	85.9	—	10.7
9月末	37,164	△1.0	87.1	—	10.4
10月末	35,362	△5.8	88.2	—	10.3
11月末	37,379	△0.4	86.0	—	11.7
12月末	39,655	5.6	86.1	—	12.3
2024年1月末	39,847	6.1	86.4	—	11.9
2月末	41,275	9.9	86.1	—	11.6
3月末	43,384	15.6	86.6	—	10.4
4月末	43,479	15.8	89.5	—	9.6
5月末	43,256	15.2	89.5	—	9.3
6月末	45,498	21.2	89.4	—	8.8
7月末	43,705	16.4	89.1	—	9.0
8月末	43,903	16.9	89.2	—	9.4
(期末) 2024年9月20日	44,766	19.2	86.8	—	10.0

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年9月21日～2024年9月20日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。株式要因については、保有銘柄からの配当を手堅く確保したことに加え、株式市場の上昇を受けて価格要因もプラスとなりました。一方、豪ドル安・円高を反映し、為替要因がマイナス寄与しました。

当期のオーストラリア株式市場全体は上昇しました。

期の前半は、2023年10月開催分のオーストラリア準備銀行（RBA）理事会の議事要旨でインフレ減速ペースが想定よりも緩やかになった場合は追加金融引き締めが必要との見解が示され、株式市場は下落しました。しかし、その後は米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げサイクルの終了と2024年の複数回の利下げが示唆されたことで、米国株式市場が上昇したため、オーストラリアの株式市場も上昇に転じました。

期の半ばは、堅調な米国雇用統計や企業決算、人工知能（AI）への期待などを背景に米国の株式市場が上昇したことなどを受けて、オーストラリアの株式市場も上昇しました。しかし、その後は堅調な米国の経済指標等を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ開始時期が後ずれする可能性があるとの見方が市場で強まり、米国の株式市場が下落したことから、オーストラリアの株式市場も下落しました。

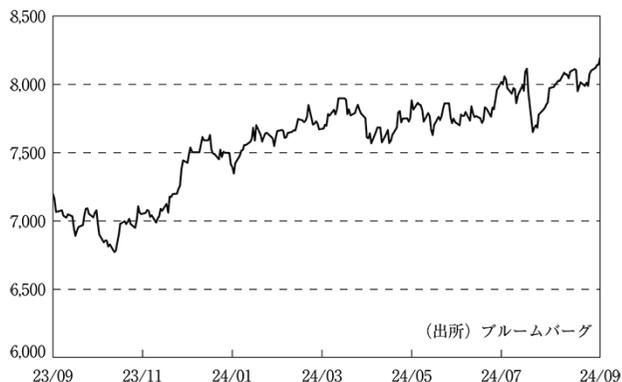
期の後半は、軟調な米国の経済指標を受けて米国の景気後退懸念が浮上し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、株式市場は一時下落しました。しかし、その後は豪雇用統計などが足元の国内景気の底堅さを示したことなどから、株式市場は上昇に転じました。さらに、2024年9月のFOMCに向けてFRBの大幅な利下げ期待が強まったことから米国の株式市場が上昇したため、オーストラリアの株式市場は一段と上昇しました。

当期の豪ドル・円相場は、若干豪ドル高・円安となりました。

期の前半は、2023年10月の金融政策決定会で日銀が発表した長短金利操作（イールドカーブ・コントロール、YCC）の修正が、市場の一部で想定ほどタカ派的ではないと捉えられたため、豪ドル高・円安が優勢となりました。しかし、その後は植田日銀総裁などの発言を受け、日銀の金融政策が修正されるとの見方が改めて強まったことから、豪ドル安・円高が進みました。

期の半ばは、2024年3月の金融政策決定会で日銀がマイナス金利の解除などを決定したものの、当面は緩和的な金融環境が続くとの見方が市場で拡大すると、豪ドル高・円安が進展

オーストラリア株式指数（S&P/ASX200）の推移



豪ドル／円レートの推移



しました。また、4月の会合で日銀が追加利上げを見送ると、豪ドルは対円で一段と上昇しました。

期の後半は、米ドル・円相場が37年半ぶりとなる1米ドル=161円台まで上昇するなど、円が対主要通貨で下落するなか、豪ドルは対円で大きく上昇しました。また、堅調なオーストラリアの経済指標も、豪ドル高・円安の要因となりました。しかし、その後は7月末に開催された日銀の金融政策決定会合に向けて市場の利上げ期待が高まるなか、豪ドルは対円で大きく下落しました。さらに、実際に利上げを実施した金融政策決定会合後の会見で植田日銀総裁が追加利上げについて言及すると、豪ドルは対円で下げ幅を拡大しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月21日～2024年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 18	% 0.043	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(15)	(0.037)	
(投 資 証 券)	(2)	(0.006)	
(b) そ の 他 費 用	3	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 金銭信託預入に係る手数料等
(保 管 費 用)	(3)	(0.008)	
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	21	0.051	
期中の平均基準価額は、41,158円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年9月21日～2024年9月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル
		370,433	326,030	799,427	592,527
		(-)	(-)	(-)	(-)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
オーストラリア	百口	千オーストラリアドル	百口	千オーストラリアドル
外 REGION RE LTD	—	—	107,599	23,070
CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	45,236	15,848
GPT GROUP	—	—	48,470	21,118
VICINITY CENTRES	35,054	5,985	196,448	39,257
SCENTRE GROUP	28,525	7,284	75,651	24,651
STOCKLAND	—	—	1,452	635
小計	63,580	13,269	474,857	124,581

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2023年9月21日～2024年9月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	91,276,694千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	211,558,768千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.43

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月21日～2024年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年9月20日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円			
ANZ GROUP HOLDINGS LTD	59,810	42,143	132,751	12,898,159	金融	
WESTPAC BANKING CORP	25,892	15,002	50,062	4,864,031	金融	
TELSTRA CORP LTD	327,447	340,585	136,574	13,269,599	コミュニケーション・サービス	
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	48,063	19,933	24,358	2,366,666	金融	
BHP GROUP LTD	12,341	19,219	77,243	7,504,965	素材	
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	94,381	84,303	41,140	3,997,185	一般消費財・サービス	
TRANSURBAN GROUP	49,279	47,608	64,699	6,286,249	資本財・サービス	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	5,398	2,649	38,154	3,707,063	金融	
RIO TINTO LTD	—	3,977	45,188	4,390,557	素材	
APA GROUP	100,331	102,932	77,713	7,550,672	公益事業	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	75,801	46,547	35,934	3,491,442	金融	
FLIGHT CENTRE TRAVEL GROUP L	—	21,165	45,357	4,406,902	一般消費財・サービス	
ELDERS LTD	30,200	35,096	31,902	3,099,672	生活必需品	
G. U. D. HOLDINGS LTD	27,878	—	—	—	一般消費財・サービス	
GWA GROUP LTD	83,713	32,972	7,682	746,436	資本財・サービス	
DOWNER EDI LTD	94,182	76,057	41,070	3,990,436	資本財・サービス	
WORLEY LTD	16,513	15,863	23,002	2,234,887	資本財・サービス	
SUNCORP GROUP LTD	67,186	37,082	68,379	6,643,797	金融	
MONADELPHOUS GROUP LTD	14,081	—	—	—	資本財・サービス	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	23,510	20,069	79,272	7,702,128	金融	
PERPETUAL LTD	11,370	13,319	24,654	2,395,413	金融	
JB HI-FI LTD	9,092	5,647	44,507	4,324,346	一般消費財・サービス	
INSIGNIA FINANCIAL LTD	121,586	127,693	32,434	3,151,299	金融	
QBE INSURANCE GROUP LTD	54,670	55,890	92,331	8,970,965	金融	
WESFARMERS LTD	12,496	4,659	32,688	3,176,062	一般消費財・サービス	
ALUMINA LTD	208,666	—	—	—	素材	
WOOLWORTHS GROUP LTD	14,515	12,613	44,449	4,318,721	生活必需品	
BRAMBLES LTD	—	28,575	53,578	5,205,692	資本財・サービス	
MACQUARIE GROUP LTD	3,664	2,160	50,038	4,861,784	金融	
AURIZON HOLDINGS LTD	363,517	328,105	112,540	10,934,406	資本財・サービス	
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	59,466	—	—	—	一般消費財・サービス	
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	296,814	249,224	30,779	2,990,511	コミュニケーション・サービス	
ORORA LTD	115,770	166,925	45,236	4,395,201	素材	
AMPOL LTD	—	8,831	25,001	2,429,126	エネルギー	
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	18,228	—	—	—	エネルギー	
LOTTERY CORP LTD/THE	114,185	92,525	47,002	4,566,801	一般消費財・サービス	
VENTIA SERVICES GROUP PTY LT	—	118,434	53,413	5,189,680	資本財・サービス	
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALI	63,361	62,218	31,357	3,046,738	生活必需品	
AMOTIV LTD	—	14,423	15,115	1,468,620	一般消費財・サービス	
MEDIBANK PRIVATE LTD	412,378	342,846	125,481	12,191,796	金融	
IPH LTD	—	25,991	15,412	1,497,515	資本財・サービス	
AGL ENERGY LTD	74,173	63,967	74,714	7,259,218	公益事業	
SOUTH32 LTD	101,912	105,824	33,863	3,290,220	素材	
COLES GROUP LTD	41,196	36,927	70,864	6,885,184	生活必需品	
ATLAS ARTERIA	150,565	144,640	69,137	6,717,444	資本財・サービス	
合 計	株数・金額	3,403,647	2,974,653	2,145,096	208,417,607	
	銘柄数 < 比率 >	38	40	—	< 86.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額		
(オーストラリア)	百口	百口	千オーストラリアドル	千円	%	
CHARTER HALL RETAIL REIT	45,236	—	—	—	—	
GPT GROUP	125,553	77,082	39,697	3,857,017	1.6	
STOCKLAND	66,943	65,490	34,971	3,397,868	1.4	
SCENTRE GROUP	360,573	313,447	120,050	11,664,109	4.9	
REGION RE LTD	107,599	—	—	—	—	
VICINITY CENTRES	381,941	220,547	52,710	5,121,394	2.1	
合 計	口 数・金 額	1,087,846	676,568	247,430	24,040,389	
	銘 柄 数<比 率>	6	4	—	<10.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 208,417,607	% 86.6
投資証券	24,040,389	10.0
コール・ローン等、その他	8,260,311	3.4
投資信託財産総額	240,718,308	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(239,779,363千円)の投資信託財産総額(240,718,308千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月20日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=97.16円です。

○特定資産の価格等の調査

(2023年9月21日~2024年9月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	243,209,614,149
コール・ローン等	2,663,969,614
株式(評価額)	208,417,607,873
投資証券(評価額)	24,040,389,886
未収入金	5,090,266,337
未収配当金	2,997,375,347
未収利息	5,092
(B) 負債	3,093,414,193
未払金	2,524,919,800
未払解約金	568,494,393
(C) 純資産総額(A-B)	240,116,199,956
元本	53,638,243,671
次期繰越損益金	186,477,956,285
(D) 受益権総口数	53,638,243,671口
1万口当たり基準価額(C/D)	44,766円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	65,754,638,736円
期中追加設定元本額	5,427,332,971円
期中一部解約元本額	17,543,728,036円
期末における1口当たりの純資産額は4.4766円です。	

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	25,711,445,634円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド(遺族機関投資家専用)	22,694,777,805円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド(年2回決算型)	5,122,610,675円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド(高専ヘッジあり)(年2回決算型)	60,821,538円
フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド(高専ヘッジあり)(毎月分配型)	48,588,019円

○損益の状況 (2023年9月21日～2024年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,183,447,939
受取配当金	11,115,988,848
受取利息	68,209,323
支払利息	△ 750,232
(B) 有価証券売買損益	31,403,376,044
売買益	42,715,611,862
売買損	△ 11,312,235,818
(C) 保管費用等	△ 18,679,340
(D) 当期損益金(A+B+C)	42,568,144,643
(E) 前期繰越損益金	181,121,657,713
(F) 追加信託差損益金	17,159,281,357
(G) 解約差損益金	△ 54,371,127,428
(H) 計(D+E+F+G)	186,477,956,285
次期繰越損益金(H)	186,477,956,285

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的を明確化し、価格変動などのリスクを回避するため並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現するための利用に限定する約款変更を行いました。

(変更日：2023年12月21日)